

製品名: USP36 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19677**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	USP36
別名	USP36; KIAA1453; Ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase 36; Deubiquitinating enzyme 36; Ubiquitin thioesterase 36; Ubiquitin-specific-processing protease 36
遺伝子 ID	57602.0
SwissProt ID	Q9P275
免疫原	抗血清はヒト USP36 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 501-550

背景

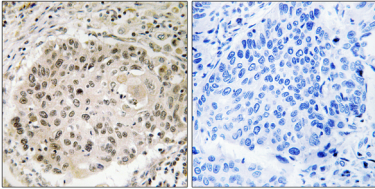
この遺伝子は、システインプロテアーゼのペプチダーゼ C19 ファミリー、すなわちユビキチン特異的プロテアーゼファミリーに属す

るタンパク質をコードしています。このファミリーのメンバーは、ポリユビキチン化されたタンパク質からユビキチン分子を除去します。コードされているタンパク質は、転写因子 c-Myc (別名 MYC) を脱ユビキチン化し、安定化させる可能性があります。c-Myc は、ほとんどのヒト癌において発現が上昇することが知られている重要な腫瘍タンパク質です。また、コードされているプロテアーゼは、オートファジーの活性化を制御する可能性も示唆されています。この遺伝子は、一部の乳癌および肺癌において発現が上昇しています。[RefSeq 提供、2016年3月],触媒活性: ユビキチン C末端チオエステル + H(2)O = ユビキチン + チオール,類似性: ペプチダーゼ C19 ファミリーに属する,組織特異性: 広く発現する,

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、クロマチン修飾酵素、ユビキチン化、細胞生物学、タンパク質分解/ユビキチン、プロテアソーム/ユビキチン、脱ユビキチン化、ユビキチンおよびユビキチン様修飾因子

画像データ



USP36 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。